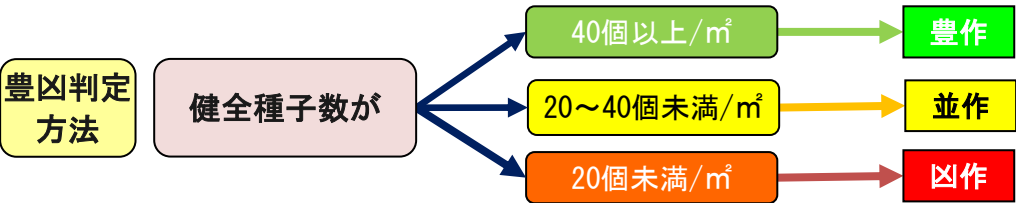


令和7年度コナラ豊凶結果について

- 1 コナラの調査目的
コナラの実り具合が、野生動物の生息や森林生態系の変化に影響を与えていると考えられることから、コナラの豊凶調査を行っています。
- 2 調査方法及び調査時期
県内11カ所のコナラ林の調査地にトラップ(面積約1㎡の円形ネット)を設置し、トラップに落下したコナラの健全種子の数から豊凶を判定します。
調査は実が落下する9月～11月頃に行っています。
- 3 コナラの豊凶基準及び結果
豊凶基準は、豊凶区分に関して既存の論文等の報告がないことから、これまでの調査結果を基にしています。
トラップ(5個:a、10個:b)に落下した種子を判別して、健全種子数が40個以上/㎡を豊作、20～40個未満/㎡を並作、20個未満/㎡を凶作としています。



【豊凶結果】

	調査箇所	健全種子数 (個/㎡)	虫害種子数 (個/㎡)	豊凶判定 結果
1	眺海の森(a)	1.6	0.0	凶作
2	西荒屋(a)	5.0	1.6	凶作
3	秋山(a)	0.0	0.3	凶作
4	庭月(b)	0.1	6.8	凶作
5	黒沢(a)	1.2	0.0	凶作
6	鶴子(b)	0.0	0.5	凶作
7	堂の前(b)	0.0	0.6	凶作
8	大谷(b)	0.1	2.0	凶作
9	古竜湖(a)	0.0	0.0	凶作
10	健康の森(a)	3.4	1.4	凶作
11	源流の森(a)	0.2	0.8	凶作

コナラ豊凶結果 位置図

